

広報させぼ 情報カレンダー 04. 9月



日	月	火	水	木	金	土
9月は障害者雇用促進月間 毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13~15時、佐世保商工会議所) 毎月第2金曜 発明相談(10時~15時30分、 市役所商工労働課)			1 市総合防災訓練 中小企業金融公庫出張相談	2	3 草もの盆栽展示会~5日	4
5 としょかんこどもまつり	6 水を大切にす る日のイベント	7	8	9	10 下水道の日 発明相談 出前保育「みんな よついでー!」(29 日、10月5日も)	11 民事介入暴力特 別相談所の開設 動物獣舎探検隊
12 ふれあいセンター でお父さん向け 育児講話 松の手入れ講習 会	13	14 ふれあいセンター で遊びの紹介講 座	15 女性の悩みごと・ 子どもの人権相 談所の開設 市立総合病院の 健康教室	16	17 敬老の日感謝ク ルーズ	18 市営バスまつり 九十九島の日感 謝クルーズ 九十九島クルー ジングフォーラム
19 森のつどい、九十九 島の祭典2004 (20日も) 秋の 動物まつり(20日、 23日、26日も)	20 敬老の日	21	22	23 秋分の日	24	25 近代化遺産見学 会
26 国民健康保険の 日曜相談	27	28 パールキーン 観月会	29 乳幼児の食事~ 野菜を豊富に 使った調理実習	30		
9月19日は九十九島の日、九十九島サマー キャンペーン(~9月20日、西海パールシー リゾート) 金魚展(~9月20日、西海パール シーセンター) 水族館ミニ企画展(9月18日 ~12月12日、西海パールシーセンター)			10月の主な行事予定 10/ 1 県美術展覧会~10日、不動産鑑定士の無料相談会 10/ 2 自然観察エコスクール 10/ 3 無料建築相談会、キリン学習会 10/ 8 戦没者追悼式			

救急・火災
医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999

エイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談
青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第2、4木曜の17時30分~20時30分には、
夜間相談も受け付けます)

女性相談
スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

9月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 パーキンソン病 火 ぎっくり腰
水 子どもに多い溶連菌感染症
木 目にごみが入ったとき
金 口の中がネバネバする
土、日 ピルの副作用

人のうごき (8月1日現在)

総人口 238,884人 (-435)
男 112,451人 (-297)
女 126,433人 (-138)
世帯数 93,842世帯(-28)

7月中のうごき

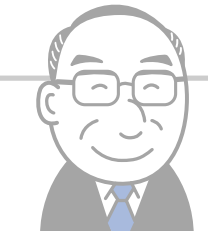
転入 625 転出 1,029
出生 163 死亡 194

見て、聞かせば 市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)
NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ
NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です。

中国で観光客の誘致活動

7月19日から25日まで、猛暑の中国を訪れました。目的は、9月中にも訪日観光のビザ(査証)解禁の対象地域が大幅に拡大される中国から、観光客を佐世保に誘致することでした。ハウステンボスの竹内会長、佐世保観光コンベンション協会の浦山理事長などと共に、大連、青島、北京を訪問し、各都市の関係者と誘致について話し合いをしてきました。

近年の中国の経済成長は目覚ましいものがあります。安い賃金、質の良い労働力、豊富な外資の導入、そして土地がすべて国有地であるために効率的に活用されていることなどから、すべての歯車がうまくかみ合いフル回転している様子が、わずかな旅行の間にも強く印象づけられました。

昨年、わが国は観光立国を大きな施策として打ち出しましたが、今回のビザ解禁により、中国からの誘致可能な観光客数は、約1億人から約3億6千万人へと拡大します。

豊富な観光資源を持つ佐世保市が、東京よりも上海との距離が近いという地の利を生かし、中国の観光客をどう迎え入れるか、具体的な施策を実行しなければならない時がきたのです。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩

伝性院と保立観音堂 (保立町)

清水小学校(旧保立小学校)下に曹洞禅宗徳蔵寺があります。民家なので目立ちませんが、道沿いに掲げられた標示に「遠藤但馬守菩提寺」と書かれています。寺にある石碑の説明に「昭和9年、徳蔵寺の初代住職花輪是道が保立観音堂を徳蔵寺とすることを認められた」とあり、元は観音信仰の真言宗系だったようです。



この観音堂は、450年ほど前の戦国時代、平戸松浦道可隆信の二男惟明が、武雄の後藤資明の養子になり、その後不和となって長峰(日宇町・青蓮寺の東側)に帰って住むようになったとき、同行してきた武雄大明神の第19代神主の舎弟・武雄右馬太郎資門が開基したと思われます。

資門は修験道の行者で伝性院を名乗りました。伝性院は武雄大明神の分霊を携え、白岳(現白岳町)に祀ったので白岳神社の起こりになったと「武雄史」(石井良一著)に記されています。また、同書には「別当伝性院のち佐世保中通に移る。今の永盛慶山はその子孫」とも書かれています。

明治維新の神仏分離策のとき永盛姓を名乗り、私塾を起こして子どもたちを教育したり、市役所裏の初代八幡橋を架ける発起人にもなりました。

徳蔵寺入口の地蔵尊は、享和3(1803)年大野甚右衛門が建てたものです。福田町の大野家は、明応7(1498)年、大野大智庵城に宗家松浦氏を攻めた平戸方の侍大將源五郎定

久の子孫。同家が祀った熊野権現の灯ろうに「伝性院」の刻字が残っています。(筒井隆義)

